符号・数直線・絶対値

中1／解き方プリント 項目1／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 基準と 反対の ことばは − で 表す。0 は 正の数でも 負の数でも ない

きまり② 数直線は 1目もりの 大きさを 先に 決める。絶対値は 0 からの 距離（符号を とった 数）

れい 北を + と して 南へ 4km は −4km。絶対値が 3 の 数は +3 と −3 の 2つ

◯ −7 の 絶対値は 7　　× −7 の 絶対値は −7

- 答えを 四角に 書く。−（マイナス）を 省かない。大問3(1)は 先に 1目もりを 四角に 書く。○で かこむ 問題は 1つだけ かこむ。
- 個数を 数える とき、以上・以下は その 数も 数え、未満・より 大きいは 数えない。
- 符号・0・数直線・絶対値を 確かめる。
- 大問5は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 ことばを 符号の ついた 数で 表す

(1) 東を + と して、西へ 5km

□ km

(2) 後を + と して、−2時間 は

（2時間 前）　（2時間 後）

大問2 0 と 整数の 個数

(1) $-4, 0, \frac{5}{2}, -\frac{1}{2}, 7$ の うち、正の数は 何個

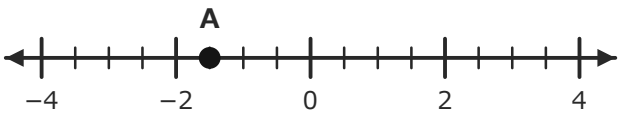
□ 個

(2) −2.5 より 大きく 3 未満の 整数は 何個

□ 個

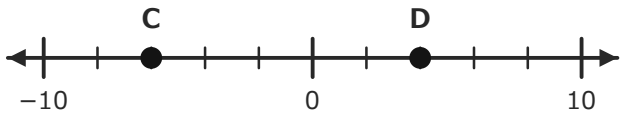
大問3 数直線の 目もりを 読む

(1) 点Aが 表す 数を 書く



1目もり □　点A □

(2) 点C、Dが 表す 数を 書く



点C □　点D □

大問4 絶対値

(1) −9 の 絶対値 □

(2) 絶対値が 6 の 数を すべて 書く

□

(3) 絶対値が 2 以下の 整数は 何個

□ 個

大問5 まちがいを 直す

(1) 「絶対値が 4 の 数は 4」

（正しい）　（まちがい）　答え □

(2) 「−2.5 の 絶対値は −2.5」

（正しい）　（まちがい）　答え □

見直し □ 反対の ことばを − に した □ 0 を 数えた □ 目もりの 大きさを 先に 決めた まちがい（ ）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

正の数・負の数を 選ぶ ドリル①

中1／ドリル 項目1 ①（選ぶ）／目標 10分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・大問1・2は、あてはまる 数を すべて 選んで、記号を 四角に 書く（例 ア、ウ）。
・大問3は、正しい 方を ○で かこむ。
・大問4は、答えを 四角に 書くか、正しい ものを ○で かこむ。符号・0・数直線・絶対値を 確かめる。

大問1 正の数を すべて 選ぶ

ア～ク から 選ぶ

ア -7　　イ 0　　ウ $\frac{3}{4}$　　エ -0.2

オ $+6$　　カ $-\frac{5}{3}$　　キ 0.9　　ク -1

□

大問2 負の数を すべて 選ぶ

ア～ク から 選ぶ

ア 5　　イ -0.4　　ウ 0　　エ $-\frac{2}{3}$

オ 8.5　　カ -9　　キ $+1$　　ク $-\frac{1}{4}$

□

大問3 ことばと 符号を 結ぶ

(1) 高い を ＋ と して、2cm 低い は

（−2cm）　（+2cm）

(2) 収入を ＋ と して、+800円 は

（800円の 支出）　（800円の 収入）

(3) いまより 前を ＋ と して、−3分 は

（3分 後）　（3分 前）

(4) 増える を ＋ と して、4人 減る は

（+4人）　（−4人）

大問4 0 の 仲間

(1) 0 に ついて 正しい 文は どれか

（0 は 正の数）　（0 は 負の数）

（0 は 正の数でも 負の数でも ない）

(2) $-6, 0, \frac{1}{3}, -0.5, 2, -\frac{1}{4}$ の うち、負の数は 何個

□ 個

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

範囲の 整数と 数直線 ドリル②

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目1 ②（書く）／目標 12分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・大問1は、整数の 個数を 四角に 書く。以上・以下は 端も 数え、未満・より 大きいは 数えない。
・大問2は、数字の ない 目もりも 数えて、点が 表す 数を 四角に 書く。－（マイナス）を 省かない。
・大問3は、2つの 点の 間に ある 整数の 個数を 四角に 書く（両はしの 点は 入れない）。
符号・0・数直線・絶対値を 確かめる。

大問1 範囲に ある 整数の 個数

(1) **−3 以上 2 以下の 整数は 何個**

□ 個

(2) **−2 より 大きく 4 未満の 整数は 何個**

□ 個

(3) **−3.5 より 大きく 1 以下の 整数は 何個**

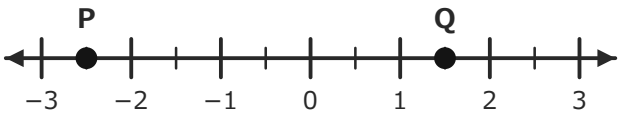
□ 個

(4) **−4 以上 0 未満の 整数は 何個**

□ 個

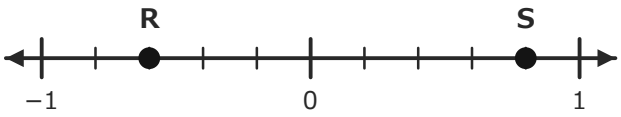
大問2 数直線の 点が 表す 数

(1) **点P、Qが 表す 数を 書く**



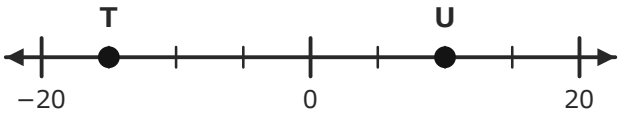
点P □　点Q □

(2) **点R、Sが 表す 数を 書く**



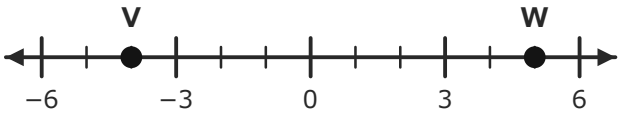
点R □　点S □

(3) **点T、Uが 表す 数を 書く**



点T □　点U □

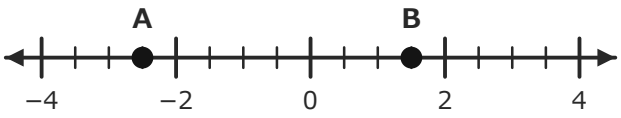
(4) **点V、Wが 表す 数を 書く**



点V □　点W □

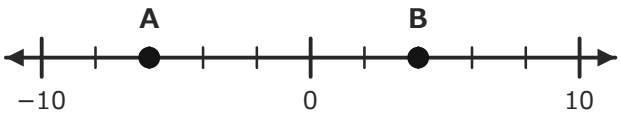
大問3 2つの 点の 間の 整数

(1) **点Aと 点Bの 間に ある 整数は 何個**



点Aと 点Bの 間の 整数 □ 個

(2) **点Aと 点Bの 間に ある 整数は 何個**



点Aと 点Bの 間の 整数 □ 個

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

絶対値から 数を もどす ドリル③

中1／ドリル 項目1 ③（逆向き）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・大問1は、絶対値が その 数に なる 数を すべて 四角に 書く（「,」で 区切る）。
・大問2は、絶対値が 等しい 別の 数を 四角に 書く。
・大問3は、整数の 個数を 四角に 書く（以上・以下は 端も 数える）。
・大問4は、○で かこむ（1つ だけ）。−（マイナス）を 省かない。 符号・0・数直線・絶対値を 確かめる。

大問1 絶対値が その 数に なる 数

(1) 絶対値が 12 の 数を すべて 書く

(2) 絶対値が 2.5 の 数を すべて 書く

(3) 絶対値が 0.4 の 数を すべて 書く

大問2 絶対値が 等しい 別の 数

(1) −8 と 絶対値が 等しい 別の 数

(2) 3.5 と 絶対値が 等しい 別の 数

(3) −0.6 と 絶対値が 等しい 別の 数

大問3 絶対値の 範囲に ある 整数の 個数

(1) 絶対値が 4 以下の 整数は 何個

＿＿＿＿ 個

(2) 絶対値が 3 未満の 整数は 何個

＿＿＿＿ 個

(3) 絶対値が 2 以上 5 以下の 整数は 何個

＿＿＿＿ 個

(4) 絶対値が 1 より 大きく 4 以下の 整数は 何個

＿＿＿＿ 個

大問4 絶対値が いちばん 大きい 数

(1) 絶対値が いちばん 大きい 数を ○で かこむ

3.5　5　−8

(2) 絶対値が いちばん 大きい 数を ○で かこむ

−2.5　1　−0.5

(3) 絶対値が いちばん 大きい 数を ○で かこむ

−6　7　4

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

符号・絶対値の 答案を 直す ドリル④

中1／ドリル 項目1 ④（直す）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・符号・数直線・絶対値に ついての 答案 A〜H を 読み、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこむ。
・四角には、まちがいの 答案なら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 書く。 符号・0・数直線・絶対値を 確かめる。

大問1 答案を 調べる

A **収入を ＋ と する。支出 500円 を 数で 表すと「+500円」**

正しい　まちがい　　正しい答え ＿＿＿＿

B **「$-3, 0, 5, -\frac{1}{2}, 6$ の うち、正の数は 3個」**

正しい　まちがい　　正しい答え ＿＿＿＿

C **「−1.5 より 大きく 2 未満の 整数は 3個」**

正しい　まちがい　　正しい答え ＿＿＿＿

D **1目もりが 0.5 の 数直線で、−2 から 右へ 3目もり 進んだ 点を「−3.5」と 答えた**

正しい　まちがい　　正しい答え ＿＿＿＿

E **「−6.5 の 絶対値は 6.5」**

正しい　まちがい　　正しい答え ＿＿＿＿

F **「絶対値が 9 の 数は 9」**

正しい　まちがい　　正しい答え ＿＿＿＿

G **「絶対値が 5 以下の 整数は 11個」**

正しい　まちがい　　正しい答え ＿＿＿＿

H **上がる を ＋ と する。下がる 3℃ を 数で 表すと「−3℃」**

正しい　まちがい　　正しい答え ＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

符号・数直線・絶対値 ドリル⑤

中1／ドリル 項目1 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /25

・全部で 25点・15分。答えは 四角に、大問4の 説明は、自分の ことばで 枠に 書く。○で かこむ 問題は 1つ かこむ。−（マイナス）を 省かない。 符号・0・数直線・絶対値を 確かめる。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 見分ける

各2点（6点）

(1) 負の数を すべて 選ぶ

ア -0.3　　イ 0

ウ 9　　エ $-\frac{5}{4}$

(2) 下がる を + と して、+3℃ は

3℃ 下がる　3℃ 上がる

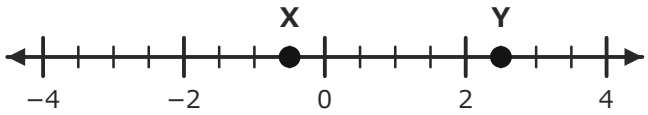
(3) 絶対値が いちばん 大きい 数を ○で かこむ

3　2.5　−4.5

大問2 数を 書く

各3点（9点）

(1) 点X、Yが 表す 数を 書く



点X ＿＿＿＿　点Y ＿＿＿＿

(2) −5 より 大きく −0.5 未満の 整数は 何個

＿＿＿＿ 個

(3) 絶対値が 3 以上 6 未満の 整数は 何個

＿＿＿＿ 個

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) 1目もりが 0.2 の 数直線で、1 から 左へ 3目もり 進んだ 点を 「1.6」と 答えた

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

(2) 「−2, 0, +4, 0.5, −0.1 の うち、負の数は 2個」

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

大問4 説明

6点

−3 と +3 は、数直線で どこが ちがい、どこが 同じか。「絶対値」と「原点」の 語を 使って 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

符号・数直線・絶対値【こたえ】

中1／解き方プリント　項目1／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 基準と 反対の ことばは − で 表す。0 は 正の数でも 負の数でも ない

きまり② 数直線は 1目もりの 大きさを 先に 決める。絶対値は 0 からの 距離（符号を とった 数）

れい 北を + と して 南へ 4km は −4km。絶対値が 3 の 数は +3 と −3 の 2つ

○ −7 の 絶対値は 7　　× −7 の 絶対値は −7

大問1 ことばを 符号の ついた 数で 表す

(1) **東を + と して、西へ 5km**

−5 km

(2) **後を + と して、−2時間 は**

2時間 前　／　2時間 後

大問2 0 と 整数の 個数

(1) **$-4, 0, \frac{5}{2}, -\frac{1}{2}, 7$ の うち、正の数は 何個**

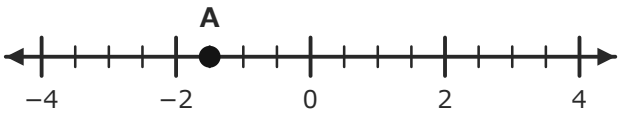
2 個

(2) **−2.5 より 大きく 3 未満の 整数は 何個**

5 個

大問3 数直線の 目もりを 読む

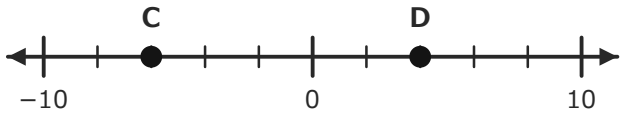
(1) **点Aが 表す 数を 書く**



1目もり 0.5　　点A −1.5

1目もり ＝ 0.5。数字の ある 目もりから 数えて 読む

(2) **点C、Dが 表す 数を 書く**



点C −6　　点D 4

1目もり ＝ 2。数字の ある 目もりから 数えて 読む

大問4 絶対値

(1) **−9 の 絶対値** 9

(2) **絶対値が 6 の 数を すべて 書く**

+6, −6

(3) **絶対値が 2 以下の 整数は 何個**

5 個

大問5 まちがいを 直す

(1) **「絶対値が 4 の 数は 4」**

正しい　／　まちがい　　答え +4, −4

(2) **「−2.5 の 絶対値は −2.5」**

正しい　／　まちがい　　答え 2.5

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) を 5 と 書いていたら、「反対の ことば」を − に 直せていない（−5km）。(2) は −2時間 ＝ 2時間 前（後を + と した とき）。

大問2 (1) を 3 に したら 0 を 正の数に 入れている（正の数は $\frac{5}{2}$ と 7 の 2個）。(2) は −2, −1, 0, 1, 2 の 5個で、0 を 数える。

大問3 (1) の 点Aを −2.5 と 読んでいたら、右へ 行くほど 数が 大きく なる ことを 見ていない（−2 の 右に ある 点）。1目もりは 0.5、−2 から 右へ 1目もりで −1.5。

大問4・5 絶対値は 符号を とった 数。(2)「絶対値が 6 の 数」は +6 と −6 の 2つ（1つだけ なら ×）。(3) は −2 から 2 までの 5個。

別解の 扱い：分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。+ と 単位は なくても ○。

いちごドリル プリント

正の数・負の数を 選ぶ ドリル①【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目1 ①（選ぶ）／目標 10分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 正の数を すべて 選ぶ

ア〜ク から 選ぶ

ア -7　　イ 0　　ウ $\frac{3}{4}$　　エ -0.2

オ $+6$　　カ $-\frac{5}{3}$　　キ 0.9　　ク -1

ウ、オ、キ

大問2 負の数を すべて 選ぶ

ア〜ク から 選ぶ

ア 5　　イ -0.4　　ウ 0　　エ $-\frac{2}{3}$

オ 8.5　　カ -9　　キ $+1$　　ク $-\frac{1}{4}$

イ、エ、カ、ク

大問3 ことばと 符号を 結ぶ

(1) 高い を ＋ と して、2cm 低い は

−2cm　　+2cm

(2) 収入を ＋ と して、+800円 は

800円の 支出　　**800円の 収入**

(3) いまより 前を ＋ と して、−3分 は

3分 後　　3分 前

(4) 増える を ＋ と して、4人 減る は

+4人　　**−4人**

大問4 0 の 仲間

(1) 0 に ついて 正しい 文は どれか

0 は 正の数　　0 は 負の数

0 は 正の数でも 負の数でも ない

(2) $-6, 0, \frac{1}{3}, -0.5, 2, -\frac{1}{4}$ の うち、負の数は 何個

3 個

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 答えは ウ、オ、キ（順は ちがっても ○）。イ の 0 は 正でも 負でも ない ので 入れない。ア・エ・カ・ク が 負の数。

大問2 答えは イ、エ、カ、ク。ウ の 0 は 入れない。ア・オ・キ は 正の数（+1 の ＋ は 省ける）。

大問3 (1) 高い を ＋ なら 低い は − を つけて −2cm。(2) +800円 は 収入。(3) いまより 前を ＋ なら −3分 は 3分 後。(4) 減る は −4人。

大問4 (1) 0 は 正の数でも 負の数でも ない。(2) 負の数は -6、-0.5、$-\frac{1}{4}$ の 3個（0 は 数えない。分数の 答えは 上下でも 斜め線でも ○）。

範囲の 整数と 数直線 ドリル②【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目1 ②（書く）／目標 12分

大問1 範囲に ある 整数の 個数

(1) −3 以上 2 以下の 整数は 何個

6 個

(2) −2 より 大きく 4 未満の 整数は 何個

5 個

(3) −3.5 より 大きく 1 以下の 整数は 何個

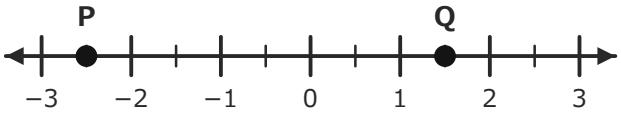
5 個

(4) −4 以上 0 未満の 整数は 何個

4 個

大問2 数直線の 点が 表す 数

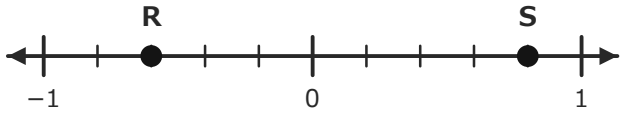
(1) 点P、Qが 表す 数を 書く



点P −2.5　点Q 1.5

1目もり ＝ 0.5。数字の ある 目もりから 数えて 読む

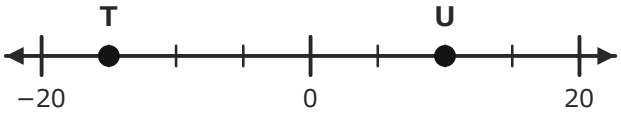
(2) 点R、Sが 表す 数を 書く



点R −0.6　点S 0.8

1目もり ＝ 0.2。数字の ある 目もりから 数えて 読む

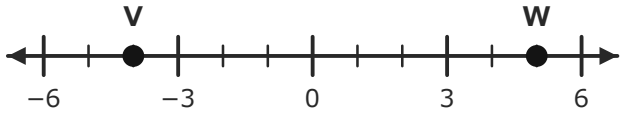
(3) 点T、Uが 表す 数を 書く



点T −15　点U 10

1目もり ＝ 5。数字の ある 目もりから 数えて 読む

(4) 点V、Wが 表す 数を 書く

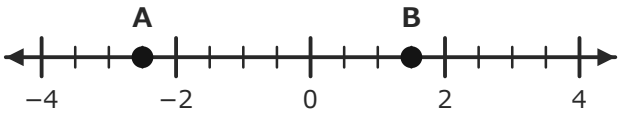


点V −4　点W 5

1目もり ＝ 1。数字の ある 目もりから 数えて 読む

大問3 2つの 点の 間の 整数

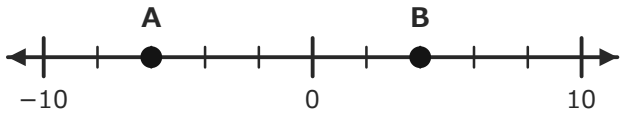
(1) 点Aと 点Bの 間に ある 整数は 何個



点Aと 点Bの 間の 整数 4 個

−2.5 と 1.5 の 間の 整数（両はしは 入れない）を 数える

(2) 点Aと 点Bの 間に ある 整数は 何個



点Aと 点Bの 間の 整数 9 個

−6 と 4 の 間の 整数（両はしは 入れない）を 数える

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) は −3, −2, −1, 0, 1, 2 の 6個（以上・以下は 端を 入れる）。(2) は −1, 0, 1, 2, 3 の 5個、(3) は −3〜1 の 5個、(4) は −4, −3, −2, −1 の 4個（0 未満なので 0 は 入らない）。

大問2 1目もりを 先に 決める。(1) は 0.5、(2) は 0.2、(3) は 5、(4) は 数字が 3 おきに あり 1目もりは 1。負の 側は 左へ 行くほど 数は 小さく なる（絶対値は 大きく なる）。

大問3 (1) は −2, −1, 0, 1 の 4個。(2) は −5〜3 の 9個。点Aと 点Bの 数は 入れない。

答えの −（マイナス）を 省いていたら ×。小数は 0.5 の ように 書く。

別解の 扱い：分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。+ と 単位は なくても ○。

いちごドリル プリント

絶対値から 数を もどす ドリル③【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目1 ③（逆向き）／目標 12分

大問1 絶対値が その 数に なる 数

(1) 絶対値が 12 の 数を すべて 書く

+12, −12

(2) 絶対値が 2.5 の 数を すべて 書く

+2.5, −2.5

(3) 絶対値が 0.4 の 数を すべて 書く

+0.4, −0.4

大問2 絶対値が 等しい 別の 数

(1) −8 と 絶対値が 等しい 別の 数

+8

(2) 3.5 と 絶対値が 等しい 別の 数

−3.5

(3) −0.6 と 絶対値が 等しい 別の 数

+0.6

大問3 絶対値の 範囲に ある 整数の 個数

(1) 絶対値が 4 以下の 整数は 何個

9 個

(2) 絶対値が 3 未満の 整数は 何個

5 個

(3) 絶対値が 2 以上 5 以下の 整数は 何個

8 個

(4) 絶対値が 1 より 大きく 4 以下の 整数は 何個

6 個

大問4 絶対値が いちばん 大きい 数

(1) 絶対値が いちばん 大きい 数を ○で かこむ

3.5　5　**−8**

(2) 絶対値が いちばん 大きい 数を ○で かこむ

−2.5　1　−0.5

(3) 絶対値が いちばん 大きい 数を ○で かこむ

−6　**7**　4

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) +12, −12 (2) +2.5, −2.5 (3) +0.4, −0.4。片方だけ なら ×（順は ちがっても ○）。

大問2 (1) は +8、(2) は −3.5、(3) は +0.6。絶対値が 同じで 符号が ちがう 数。

大問3 (1) は −4〜4 の 9個。(2) は −2〜2 の 5個（3 は 入らない）。(3) は 2·3·4·5 と その 反対の 数で 8個。(4) は 2·3·4 と その 反対の 数で 6個（1 は 入らない）。

大問4 (1) は −8、(2) は −2.5、(3) は 7。符号を 見ずに 数字の 大きさ（絶対値）で くらべる。

別解の 扱い：分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。+ と 単位は なくても ○。

いちごドリル プリント

符号・絶対値の 答案を 直す ドリル④【こたえ】

中1／ドリル 項目1 ④（直す）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 答案を 調べる

A **収入を ＋ と する。支出 500円 を 数で 表すと「+500円」**

正しい / まちがい（まちがい）

正しい答え **−500円**

B **「−3, 0, 5, $-\frac{1}{2}$, 6 の うち、正の数は 3個」**

正しい / まちがい（まちがい）

正しい答え **2**

C **「−1.5 より 大きく 2 未満の 整数は 3個」**

正しい（正しい） / まちがい

正しい答え **同じ**

D **1目もりが 0.5 の 数直線で、−2 から 右へ 3目もり 進んだ 点を「−3.5」と 答えた**

正しい / まちがい（まちがい）

正しい答え **−0.5**

E **「−6.5 の 絶対値は 6.5」**

正しい（正しい） / まちがい

正しい答え **同じ**

F **「絶対値が 9 の 数は 9」**

正しい / まちがい（まちがい）

正しい答え **+9, −9**

G **「絶対値が 5 以下の 整数は 11個」**

正しい（正しい） / まちがい

正しい答え **同じ**

H **上がる を ＋ と する。下がる 3℃ を 数で 表すと「−3℃」**

正しい（正しい） / まちがい

正しい答え **同じ**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

A は 支出を − に 直していない（正しくは −500円）。B は 0 を 正の数に 入れている（正の数は 5 と 6 の 2個）。C は −1, 0, 1 の 3個で 正しい。

D は 右へ 進むのに 絶対値を ふやして いる（−2 から 右へ 3目もり 進むと 1.5 だけ 0 に 近づいて −0.5）。

F は 片方だけ（+9 と −9 の 2つ）。C·E·G·H は 正しい（E は 絶対値に 符号を 残していない·G は −5〜5 の 11個）。答えが「同じ」なら ○。

別解の 扱い: 分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。+ と 単位は なくても ○。

符号・数直線・絶対値 ドリル⑤【こたえ】

中1／ドリル 項目1 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /25

大問1 見分ける　各2点（6点）

(1) 負の数を すべて 選ぶ

ア −0.3　　イ 0

ウ 9　　エ $-\frac{5}{4}$

ア、エ

(2) 下がる を ＋ と して、+3℃ は

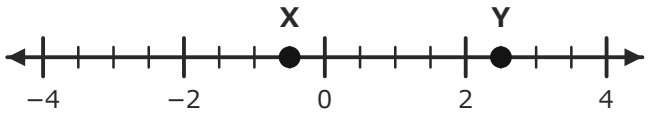
3℃ 下がる　3℃ 上がる

(3) 絶対値が いちばん 大きい 数を ○で かこむ

3　2.5　**−4.5**

大問2 数を 書く　各3点（9点）

(1) 点X、Yが 表す 数を 書く



点X **−0.5**　点Y **2.5**

1目もり ＝ 0.5。数字の ある 目もりから 数えて 読む

(2) −5 より 大きく −0.5 未満の 整数は 何個

4 個

(3) 絶対値が 3 以上 6 未満の 整数は 何個

6 個

大問3 答案を 調べて 直す　各2点（4点）

(1) 1目もりが 0.2 の 数直線で、1 から 左へ 3目もり 進んだ 点を
「1.6」と 答えた

正しい　**まちがい**

正しい答え **0.4**

(2) 「−2, 0, +4, 0.5, −0.1 の うち、負の数は 2個」

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

大問4 説明　6点

−3 と +3 は、数直線で どこが ちがい、どこが 同じか。
「絶対値」と「原点」の 語を 使って 説明しなさい。

−3 と +3 は、符号が ちがい、原点の 反対側に ある。
どちらも 絶対値は 3 で、原点からの 距離は 同じ。
（2点：符号が ちがう・原点の 反対側に ある／2点：絶対値が
どちらも 3 で 同じ／2点：「絶対値」「原点」の 語を 使えている）

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

1(1) は ア と エ（−0.3 と $-\frac{5}{4}$）。1(2) は 下がる を ＋ なら +3℃ は 3℃ 下がる。1(3) は 絶対値が 4.5 の −4.5。

2(1) は X・Y 2つ 合って 3点（片方だけは 点なし）。1目もり 0.5 で X ＝ −0.5、Y ＝ 2.5。2(2) は −4, −3, −2, −1 の 4個。2(3) は 3・4・5 と その 反対の 数で 6個（6 は 入らない）。

大問3(1) は 左へ 3目もり ＝ 1 − 0.6 ＝ 0.4。(2) は 負の数は −2 と −0.1 の 2個（0 は 入れない）で 正しい（答えは「同じ」）。

大問4 は 符号の ちがい（2点）・絶対値が 同じ（2点）・「絶対値」「原点」の 語を 使えている（2点）で 採点。

別解の 扱い：分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。＋ と 単位は なくても ○。

いちごドリル プリント